

提言書(素案)について

1. 骨子案からの変更点
2. 骨子案からの変更点
(「ビジョン(将来像)の実現に向けた提言」の部分)
3. その他追記・変更した内容について

特命推進課
令和5年2月9日

1. 骨子案からの変更点

提言書(骨子案)

- 1 琉球文化の性格
- 2 琉球文化の本質的価値
- 3 琉球文化ルネサンスとは
- 4 琉球文化ルネサンスのビジョン(将来像)
 - (1)地域文化の継承
 - (2)文化的価値の普及・啓発
 - (3)新たな価値(魅力)の創出
- 5 琉球文化ルネサンスのビジョン実現に向けた提言
 - (1)地元の歴史・文化を次世代に継承することによる地域活性化
 - (2)プラットフォームを活用した本質的価値に触れる機会の創出
 - (3)観光需要や外需を取り込んだ琉球文化による域内経済循環の促進
 - (4)提言を実現するための持続可能な仕組みづくり

提言書(素案)

- 1 琉球文化の性格
- 2 琉球文化の本質的価値
- 3 琉球文化ルネサンスとは
- 4 琉球文化ルネサンスのビジョン(将来像)
 - (1)地域文化の継承
 - (2)文化的価値の普及・啓発
 - (3)新たな価値(魅力)の創出
 - (4)戦略的な取組の推進
- 5 琉球文化ルネサンスのビジョン実現に向けた提言
 - (1)地域^の歴史・文化を次世代に継承することによる地域活性化
 - (2)プラットフォームを活用した本質的価値に触れる機会の創出
 - (3)琉球文化の新たな価値(魅力)の創出による域内経済循環の促進
 - (4)提言を実現するための持続可能な仕組みづくり

2. 骨子案からの変更点(ビジョン(将来像)の実現に向けた提言)

提言書 (骨子案)

(1) 地元の歴史・文化を次世代に継承することによる地域活性化

- ① 地域文化を担う人材の育成・活用
- ② 多様な離島文化を活用した地域活性化に向けた取組

(2) プラットフォームを活用した本質的価値に触れる機会の創出

- ① 「琉球歴史文化の日」の普及・啓発の取組強化
- ② 学校教育と連携した普及・啓発の推進
- ③ 世界のウチナンチュネットワークの活用

(3) 観光需要や外需を取り込んだ琉球文化による域内経済循環の促進

- ① 宿泊施設・飲食店等への伝統工芸の活用促進
- ② 新たなニーズに対応した商品やサービスの提供
- ③ ホンモノを体現する場の創出

(4) 提言を実現するための持続可能な仕組みづくり

- ① 市町村・関係機関等との連携体制の構築
- ② プロデュース人材の育成・確保
- ③ デジタル技術の活用
- ④ 多様な財源の確保
- ⑤ 文化活動を支える企業等を支援する取組

提言書 (素案)

(1) **地域**の歴史・文化を次世代に継承することによる地域活性化

- ① **地域文化によるシビックプライドの醸成**
- ② 地域文化を担う人材の育成・活用
- ③ **島々の多様な歴史・文化・自然**を活用した地域活性化に向けた取組

(2) プラットフォームを活用した本質的価値に触れる機会の創出

- ① 「琉球歴史文化の日」**を中心とした**普及・啓発の取組強化
- ② 学校教育と連携した普及・啓発の推進
- ③ 世界のウチナネットワークの活用

(3) **琉球文化の新たな価値(魅力)の創出**による域内経済循環の促進

- ① 宿泊施設・飲食店等**と連携した観光需要などの喚起策**
- ② **出口戦略をもった新たなサービス・コンテンツの開発**
- ③ 「ホンモノ」を体現する場の創出

(4) 提言を実現するための持続可能な仕組みづくり

- ① **県と**市町村・関係機関との連携体制の構築
- ② プロデュース人材の育成・確保
- ③ デジタル技術の活用**促進**
- ④ 多様な財源の確保
- ⑤ 文化活動を支える企業等を支援する取組

3. その他追記・変更した内容

第3回会議のご意見を踏まえ、以下の内容を提言書（素案）に追加しました。

委員意見	追加・変更
◆「シビックプライド」の醸成 地域を活性化するためには、地元（地域）の人が地域の歴史や文化に対して自信と誇りを持つこと（シビックプライドの醸成）が必要。	提言(1)－①に記載
◆消滅の危機にある民俗文化の継承について 地域の生活に関わりの深い文化（祭祀・民具など）を次世代にどのように継承していくかということも考えていく必要がある。	提言(1)－③に記載
◆先島への高等教育機関（専門学校・大学など）設置について 王朝文化とは違う地域の歴史や文化が学べる教育機関の設置が必要ではないか。	提言(1)－③本文、 ＜具体的な取組内容＞に記載
◆エコミュージアムによるまちづくり 地域文化を体感するためには、「エコミュージアム」という視点を県全体で共有していくことも必要。	提言(1)－③ ＜具体的な取組内容＞に記載
◆「琉球歴史文化の日」の取組について 条例を制定した後、こういった取組をするかというところが一番重要である。	提言(2)－①に記載
◆世界のウチナーンチュとの交流について 世界のウチナーンチュ大会とあわせて、音楽祭や芸能祭、空手大会など文化芸能を通じた交流を行ってはどうか。	提言(2)－③ ＜具体的な取組内容＞に記載
◆「ホンモノ」を体現する場の創出 歴史文化を体現もしくは見せるような場が必要。そのためには、歴史的な施設などをどのように活用していくかということも検討していかなければならない。	提言(3)－③に記載
◆文化に関する情報や支援策の情報提供体制について 文化に関する情報（補助金の制度や手続きなども含め）を提供し、サポートする体制が必要	提言(4)－①に記載